

下商物語

その三十一

関門地方経済調査のはなし

教諭 林 俊行

本校図書館(万古館)の二階郷土資料室に「関門地方経済調査」という過去の本校生徒の手による素晴らしい調査研究を行った記録資料があることをご存知でしょうか。

昭和三年三月に第一号が創刊され、昭和十六年十二月号の第十五号までに亘って当時の最高学年(中心は最高学年の五年生ですが四年生の作品も)の生徒が夏季休業中に与えられた題目について、各自が調査研究を進めてその中から二十編前後の優秀作品を選んで刊行されたものです。収録漏れの論文については、巻末に調査研究題目として研究題目と担当者の氏名を一括して掲げて生徒全体の取り組みがわかるように編集されたものです。

当時の本校は五年制課程までであり、その「集大成」として最後の学年にて夏季休業期間中に各自で関

門地方での経済産業の研究を論文にまとめて、冊子として印刷して専門家の方々に批評していただいたとの記録があり、当時の学業レベルの高さを伺い知ることができます。

郷土に関する経済上の考察は、商業学・経済学を学ぶ商業学校の生徒にとって最も相応しいものであり、その調査の報告を印刷して頒布することで、他の学友の調査研究の参考にもなり、全校の生徒に郷土の研究についてますます興味を持たせることで大きな学習の成果を挙げることを目標としていたようです。現在と違って五年間本校でみっちり学習ができたこともありその資料を見ても(無論、当時はパソコンなどは無く、タイプによる丁寧な仕上げ)その内容には質・量ともに目を見張るものがあります。

ちなみに、創刊から廃刊に至る

までの十五号の中でいくつかの主な研究題目をここに紹介してみますと次のようなものがあります。

- ・下関における鮮魚取引
- ・門司港発達略史
- ・赤間関
- ・関門における石油業
- ・下関における染物業
- ・下関の露店商人
- ・彦島
- ・関門連絡船
- ・下関における砂糖
- ・下関における醤油
- ・ソース業
- ・下関雲丹
- ・下関におけるタクシー業
- ・萩藩札について
- ・豊浦藩札について
- ・下関の北国問屋について
- ・海峡運送船について
- ・下関の上下水道について
- ・株式会社山陽百貨店
- ・下関の理髪業について
- ・下関における夏橙
- ・勝山桃
- ・下関駅の概況
- ・下関市における金融業
- ・商港としての下関港について
- ・下関市の看板調査
- ・昭和十四年事変後の当市物価の解剖
- ・安岡の交通
- ・関門における油脂業
- ・市営唐戸魚市場
- などいずれも生徒による力作揃いものが保管されています。

これらの記録は、現在とても貴重なものとして、大学や専門の研究者の方による問い合わせがあるようです。

現在の三年生の授業で「課題研

究(2単位)」が行われていますが、各自の課題に対するこのような郷土の研究に取り組み、それをまとめて資料として報告するといった取り組みも今後の学習「新教育課程編成」で必要とされるのではないのでしょうか。まさに本校の教育を振り返って「温故知新」の精神で一歩前に進む姿勢が今問われているのではないのでしょうか。

※写真は、本校図書館で保存している「関門地方経済調査」「下関産業誌」「郷土の産業と社会(研究調査部発行)」

